

吉岡町郵便入札における「くじ」について

入札書余白に記載された3桁の数字（くじ番号）と書留番号の下4桁を用いて「くじ」を実施します。以下に示した手順で機械的に行うため、公平性が担保されます。

1) 最低価格の同価入札があった場合、その方たちのくじ番号と書留番号（下4桁）を使い以下の手順で落札者を決定します。

※くじ番号は入札参加者全員に記載してもらいます。

2) 書留番号（下4桁）を昇順に並べ0から附番した番号を認証番号とします。

※下4桁が同一の場合、上位の数字を取り扱います。

例) 2341 (A) → 4686 (B) : A①、B②

3) くじ番号と書留番号（下4桁）を足し合わせた番号を生成番号とします。

※同一のものでも4桁で扱います。

例) A : 071+2341=2412 B : 123+4686=4809

4) 同価となった方の生成番号全て足し上げ、それを同価となった方の数で割ることで発生したあまりを落札者番号とします。

※あまりがない場合は「0」として扱います。

例) (2412+4809) ÷ 2 = 3610...1

5) 落札者番号と認証番号が一致した応札者を落札者と決定します。

※低入札者の場合、落札者番号に1を足した番号と認証番号とが一致したものを次順位者とします（落札番号に1を足した番号が認証番号にない場合は、0の認証番号の者を次順位者とします。）。

例) 書留番号から作り出した認証番号が「1」のAが落札者となる。

社名	入札額	くじ	生成番号	書留番号	認証番号	結果
A (同価)	2,000,000	071	2412	5**-**-01234-1	①	
B (同価)	2,000,000	123	4809	3**-**-02468-6	②	落札
C	2,200,000	324	-	1**-**-03659-3	-	
D	2,100,000	111	-	3**-**-00345-1	-	
同価はA・Bの2者		くじ番号	生成番号		認証番号	落札者番号「1」